

イーストスプリング・  
タイ株式オープン

追加型投信／海外／株式

第7期(決算日:2016年12月12日)

作成対象期間(2016年6月11日～2016年12月12日)

第7期末(2016年12月12日)	
基準価額	9,714円
純資産総額	439百万円
(2016年6月11日～2016年12月12日)	
騰落率	10.7%
分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・タイ株式オープン」は、2016年12月12日に決算を行いました。

当ファンドは、主にタイの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## &lt;閲覧方法&gt;

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

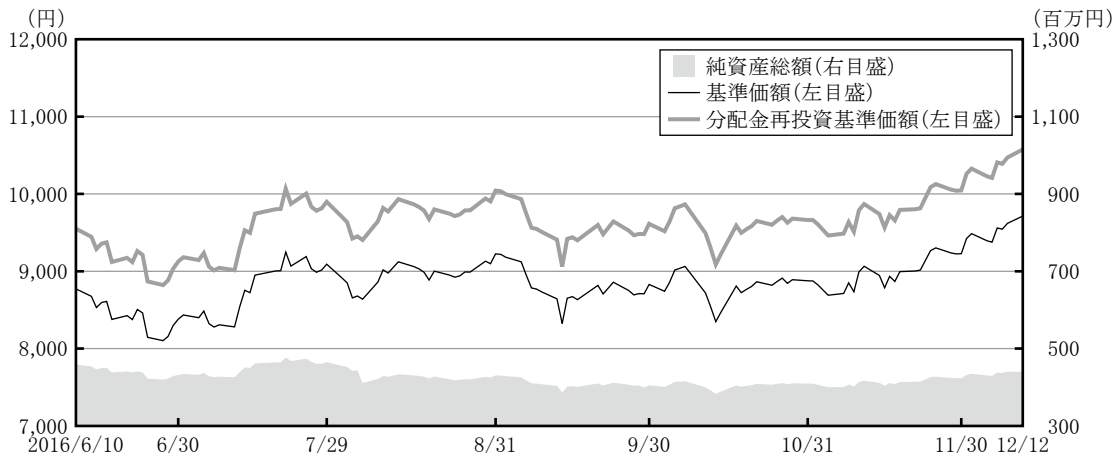
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

## 運用経過

### 基準価額等の推移について(第7期:2016年6月11日から2016年12月12日まで)



第7期首	8,773円
第7期末	9,714円(既払分配金0円)
騰落率	10.7%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。タイの株式市場の上昇に加え、通貨タイバーツが対円で上昇したことがプラス要因となりました。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2016/6/11 ～2016/12/12		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	65円	0.723%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、8,938円です。
(投信会社)	(27)	(0.301)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(37)	(0.411)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	5	0.060	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.003)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.009)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(4)	(0.045)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他1)	(0)	(0.003)	信託管理事務に係る手数料
合計	70	0.783	

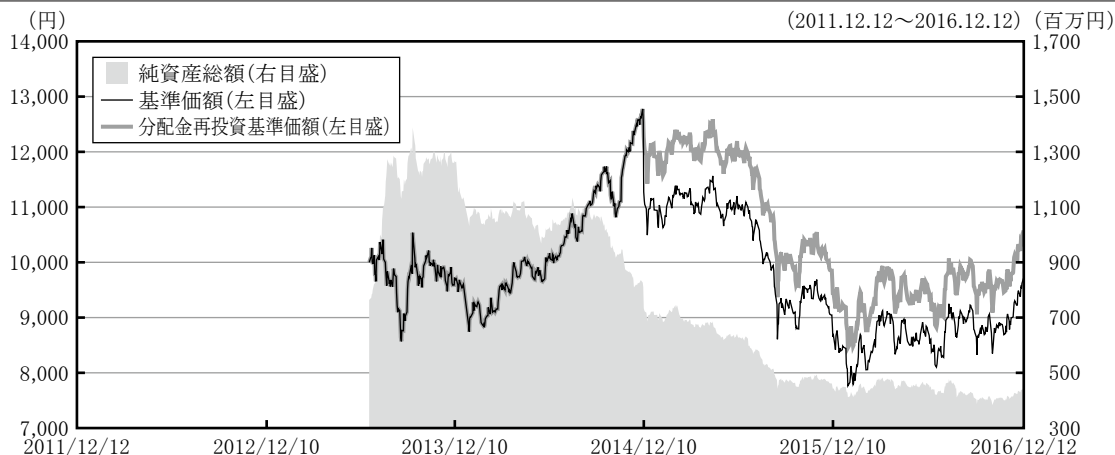
(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日		2013/6/28 (設定日)	2013/12/10	2014/12/10	2015/12/10	2016/12/12
基準価額	(円)	10,000	9,723	11,274	8,649	9,714
期間分配金合計(税込み)	(円)	—	0	1,000	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△2.8	26.2	△23.3	12.3
純資産総額	(百万円)	763	1,267	733	441	439

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定元本を記載しております。

\* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 投資環境について

### ○海外株式市況

タイの株式市場は、2016年7月から8月にかけて英国の欧州連合(EU)離脱が米国の利上げを後ずれさせるとの見方や、タイの新憲法草案の賛否を問う国民投票を控え賛成が優勢との期待感から堅調に推移しました。9月に入ると原油価格が軟調に推移したことや、欧州中央銀行(ECB)が金融政策の現状維持を発表したことを受けて株価は下落しました。10月にはプミポン前国王の容体が不安定であると報道され株価は急落する場面もありましたが、国民投票で草案が承認されて以降、民政移管への期待が継続したことなどを背景に株価は反発し、期末まで堅調に推移しました。

### ○為替市況

タイバーツはプミポン前国王の健康懸念や米国大統領選挙後に新興国からの資金流出懸念が強まったことを背景に対米ドルで下落しましたが、円も対米ドルで下落したことから、対円では上昇しました。

### ○国内債券市況

日本国債市場は、2016年7月末まで日銀の長期国債買い入れオペによる需給逼迫化を背景に堅調(利回りは低下)となりました。しかし、7月末に日銀による国債買い入れ減額への警戒感から債券価格は大幅に下落(利回りは急上昇)し、さらに、11月の米国大統領選挙後に米国債市場が急落する中で日本国債市場も一段安となりました。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラスJ(以下「タイランド・エクイティ」という場合があります。)の組入比率を高位に保つよう運用しました。

### ○タイランド・エクイティ

タイ株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。当期は、ガス部門の利益拡大期待が高まったエネルギー株や、2016年8月の新憲法草案に係る国民投票で賛成が優勢との期待から上昇した銀行株などの保有がプラス要因となりました。一方で、競争激化による収益率の低下が懸念され下落した情報通信株などの保有はマイナス要因となりました。

### ○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。期初から金利は低下(債券価格は上昇)傾向でしたが、2016年7月末と11月中旬の2回にわたる金利上昇(債券価格は下落)を受けて、リターンはマイナスとなりました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳 (1万口当たり、税引前)

項目	第7期	
	2016年6月11日 ～2016年12月12日	
当期分配金 (円)	—	—
(対基準価額比率) (%)	—	—
当期の収益 (円)	—	—
当期の収益以外 (円)	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,209	—

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) ー印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### ○当ファンド

主要な投資対象の一つであるタイランド・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

### ○タイランド・エクイティ

米国の次期政権の政策内容や主要先進国の金融政策が不透明であることから外需の見通しにおいては懸念される点もありますが、タイ経済は安定化の兆しを見せており、国内における順調なインフラ投資が持続的な成長に寄与するものとみられます。2016年12月にプミポン前国王の長男であるワチラロンコン皇太子が国王に即位しました。8月に行われた新憲法草案の賛否を問う国民投票で賛成派が過半数を獲得して以降、民政移管に対する期待が継続しています。今後は新憲法の下で総選挙が行われる見通しであり、新国王のもとで民政移管のプロセスが進むものとみられます。引き続き景気や政治の動向等に注意しながら、ファンダメンタルズが良好で割安な銘柄への選別投資を行っていく方針です。

### ○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。欧米国債市場の変動性が高まっていることから、国内だけでなく海外の状況も注視しながら運用を行って参ります。

## お知らせ

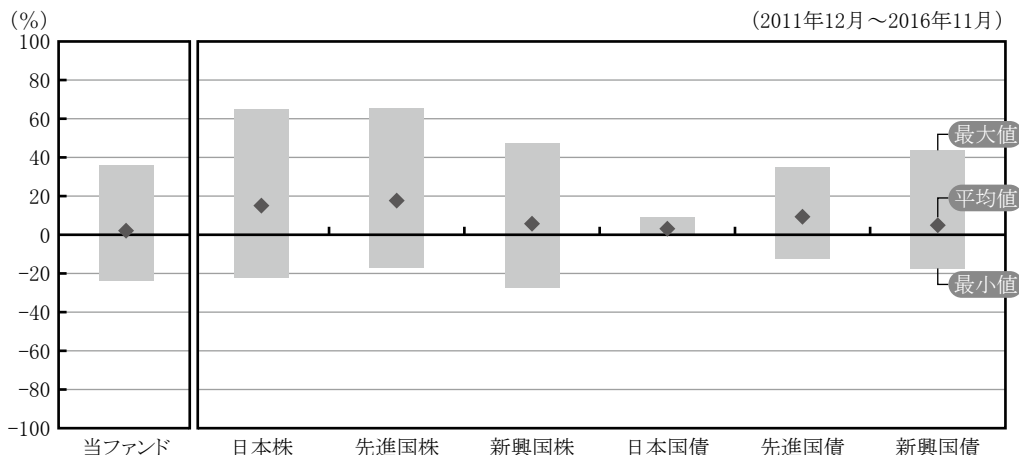
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2013年6月28日から2023年6月12日まで
運用方針	主にタイの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンドクラスJ」の投資証券(米ドル建て)およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</li><li>・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li><li>・ 株式への直接投資は行いません。</li></ul>
分配方針	毎決算時(毎年6月10日および12月10日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準および市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	2.2	15.1	17.7	5.7	3.1	9.3	5.0
最大値	36.1	65.0	65.6	47.3	9.3	34.9	43.7
最小値	-23.6	-22.0	-17.1	-27.5	0.5	-12.3	-17.4

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2011年12月から2016年11月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。  
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※当ファンドは2013年6月28日に設定されたため、ファンドの年間騰落率は2014年6月以降のデータをもとに表示しています。

<各資産クラスの指数>

日本株: 東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)

新興国株: MSCIエマーシング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。



## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

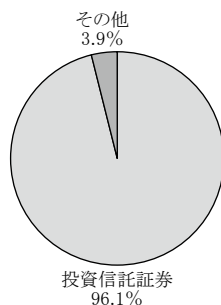
#### ○組入ファンド

(組入銘柄数:2銘柄)

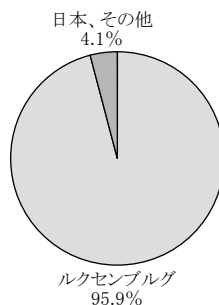
ファンド名	第7期末 2016年12月12日
イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラスJ	95.9%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)	0.2%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

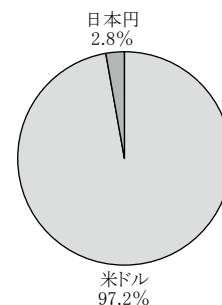
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

### 純資産等

項目	第7期末 2016年12月12日
純資産総額	439,924,279円
受益権総口数	452,889,745口
1万口当たり基準価額	9,714円

\* 当期中において追加設定元本額は8,555,877円、一部解約元本額は78,688,297円です。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラスJ

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移  
(2015年1月1日～2015年12月31日)



○1万口当たりの費用明細  
(2015年1月1日～2015年12月31日)

当該期間のAnnual Report (監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

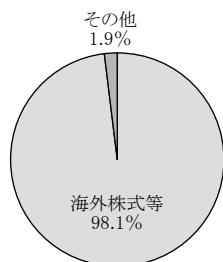
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンドの内容です。

○組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 49銘柄)

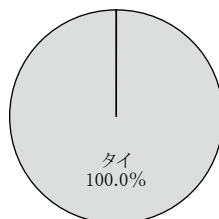
(2015年12月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	PTT PCL/Foreign	エネルギー	タイ	9.1%
2	Siam Cement PCL-NVDR	素材	タイ	7.3%
3	Airports of Thailand PCL-Foreign	運輸	タイ	6.4%
4	Kasikornbank PCL-Foreign	銀行	タイ	5.9%
5	Siam Commercial Bank PCL-Foreign	銀行	タイ	5.7%
6	Advanced Info Service PCL-Foreign Rg	電気通信サービス	タイ	5.5%
7	Bangkok Dusit Medical Services PCL-Foreign	ヘルスケア機器・サービス	タイ	4.7%
8	CP ALL PCL-Foreign	食品・生活必需品小売り	タイ	4.0%
9	Bangkok Bank PCL-Foreign Reg	銀行	タイ	3.9%
10	PTT Global Chemical PCL-Foreign	素材	タイ	3.3%

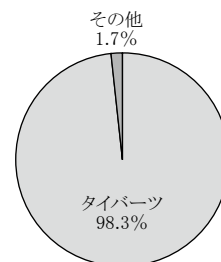
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。  
(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

(計算期間 2015年2月26日～2016年2月25日)

#### ○基準価額の推移



#### ○1万口当たりの費用明細

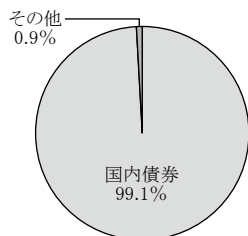
項目	金額
(a) 信託報酬 ( 投信会社 ) ( 販売会社 ) ( 受託会社 )	23円 (15) ( 2 ) ( 6 )
(b) その他費用 ( 監査費用 )	4 ( 4 )
合計	27

#### ○組入上位10銘柄

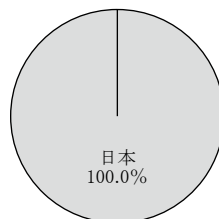
(組入銘柄数:26銘柄)

	銘柄名	種別	国・地域	比率
1	第285回利付国債(10年)	国債	日本	7.5%
2	第80回利付国債(20年)	国債	日本	6.4%
3	第75回利付国債(20年)	国債	日本	5.5%
4	第63回利付国債(20年)	国債	日本	5.2%
5	第48回利付国債(20年)	国債	日本	5.2%
6	第42回利付国債(20年)	国債	日本	5.0%
7	第67回利付国債(20年)	国債	日本	4.8%
8	第311回利付国債(10年)	国債	日本	4.8%
9	第298回利付国債(10年)	国債	日本	4.8%
10	第284回利付国債(10年)	国債	日本	4.6%

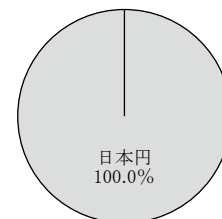
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細の項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2016年2月25日現在のものです。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 指数に関して

### ○当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」のベンチマークについて

- ・バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メリルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。

### ○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- ・東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・NOMURA-BPIは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。
- ・シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- ・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。